

2023年度 公認太極拳A・B・C級指導員 認定事業

実施要綱

2023年1月

公益社団法人日本武術太極拳連盟

1. 目的：

- － 武術太極拳普及事業の担い手としての指導員の資質の向上を図り、普及振興事業の社会的責任を果たす。
- － 本連盟が全国共通の基準に基づく権威ある資格を付与して、指導員の社会的な地位の向上を図る。
- － 本連盟の「公認指導員制度」を、現在、文部科学省・日本スポーツ協会が推進している「公認スポーツ指導者資格」等の各資格を取得するための条件を整備する。

2. 認定を実施する資格の種類：

下記の3種類の公認資格(太極拳)についての養成講習会および認定試験を実施する。

- (1) 公認太極拳A級指導員 (以下「A級指導員」という)
- (2) 公認太極拳B級指導員 (以下「B級指導員」という)
- (3) 公認太極拳C級指導員 (以下「C級指導員」という)

3. 認定：

資格の認定は「公認武術太極拳指導員規則」に基づき、受験資格審査、講習会、認定試験を経て合格した者に対して行う。認定試験は、資格の級別ごとに、太極拳の分野で行う。受験資格審査を受け、講習会を受講し、認定試験に合格した者に級別ごとに資格を与える。

4. 申請者の要件：

公認指導員の資格を申請する者は、本連盟加盟団体の所属会員で、下記5.「**受験資格**」の該当する条件を満たし、受験申請の際に所属加盟団体の会長の推薦を受けることを要件とする。

但し、団体に所属しない個人で申請を希望する者が、本連盟加盟団体により推薦された場合には、状況を検討して配慮する。

5. 受験資格：

各級の公認指導員認定試験を受験する者は、下記の条件を充たしていなければならない。

1. C級指導員＝満25歳以上の者（認定試験日当日現在とする。以下、年齢の扱いは同じ）で、**公認普及指導員の資格**を有し、次の各号のすべてを充たすこと。
 - (1) 指導歴3年以上を有する者、あるいは下記1 1.「各級受験資格取得講習会」に定めるC級受験資格取得講習会を修了し、都道府県連盟代表が捺印した修了証を提出することができる者。
 - (2) 技能検定初段を取得している者。
 - (3) 都道府県連盟会長より推薦された者。
2. B級指導員＝満30歳以上の者で、**公認C級指導員の資格**を有し、次の各号のすべてを充たすこと。
 - (1) 指導歴5年以上を有する者、あるいは下記1 1.「各級受験資格取得講習会」に定めるB級受験資格取得講習会を修了し、都道府県連盟代表が捺印した修了証を提出することができる者。
 - (2) 技能検定2段を取得している者。
 - (3) 都道府県連盟会長より推薦された者。
3. A級指導員＝満35歳以上の者で、**公認B級指導員の資格**を有し、次の各号のすべてを充たすこと。
 - (1) 指導歴10年以上を有する者、あるいは下記1 1.「各級受験資格取得講習会」に定めるA級受験資格取得講習会を修了し、都道府県連盟代表が捺印した修了証を提出することができる者。
 - (2) 技能検定3段以上を取得している者。ただし、下記1 2.「特別功労指導員に対する特別措置」の規定による者は、技能検定2段を取得していれば、本件の申請をすることができるものとする。
 - (3) 都道府県連盟会長より推薦された者。

6. 講習会・認定試験の実施時期・会場：（※各会場の所在地等は別紙「会場案内」を参照）

(1) (第33期) C級指導員認定は下記の通り実施する；

- | | | |
|---|----------------------|-------------------------|
| ① | 2023年4月 8日(土)～ 9日(日) | 岩手県「アイーナ・いわて県民情報交流センター」 |
| ② | 4月 8日(土)～ 9日(日) | 埼玉県「埼玉県県民活動総合センター」 |
| ③ | 4月29日(土祝)～30日(日) | 名古屋市「愛知県武道館」 |
| ④ | 4月29日(土祝)～30日(日) | 大阪市「大阪トレーニングセンター」 |
| ⑤ | 5月3日(水祝)～ 4日(木祝) | 福岡市「ももち体育館(予定)」 |
| ⑥ | 5月 6日(土)～ 7日(日) | 岡山市「岡山市総合文化体育館」 |
| ⑦ | 5月13日(土)～14日(日) | 東京都「日本連盟トレーニングセンター」 |
| ⑧ | 5月13日(土)～14日(日) | 高松市「高松市総合体育館」 |

(2) (第33期) B級指導員認定は下記の通り実施する；

- | | | |
|---|----------------------|---------------------|
| ① | 2023年4月 8日(土)～ 9日(日) | 仙台市「トークネットホール仙台」 |
| ② | 4月15日(土)～16日(日) | 名古屋市「愛知県武道館」 |
| ③ | 4月15日(土)～16日(日) | 福岡市「アクション福岡(予定)」 |
| ④ | 5月3日(水祝)～ 4日(木祝) | 大阪市「大阪トレーニングセンター」 |
| ⑤ | 5月 6日(土)～ 7日(日) | 東京都「日本連盟トレーニングセンター」 |

(3) (第31期) A級指導員認定は下記の通り実施する；

- | | | |
|---|----------------------|----------------------|
| ① | 2023年4月15日(土)～16日(日) | 東京都①「日本連盟トレーニングセンター」 |
| ② | 4月17日(月)～18日(火) | 東京都②「日本連盟トレーニングセンター」 |
| ③ | 5月5日(金祝)～ 6日(土) | 大阪市①「大阪トレーニングセンター」 |
| ④ | 5月 7日(日)～ 8日(月) | 大阪市②「大阪トレーニングセンター」 |

7. 講習・試験とカリキュラム：

今年度は新型コロナウイルスの感染防止対策として以下4点の変更を設ける

- ①実施日程は2日間で行うが、感染防止対策として講習・研修時間を必要な最小限の時間とする。
- ②学科試験は行わず、学科講習を履修することで学科項目を合格とする。
- ③指導実技試験は通常通り行う。2日目は昼食休憩を設けず、指導実技研修(3)の終了後に引き続き指導実技試験を行い、終了者から順次解散として、より短い時間で実施する。
- ④この度のカリキュラム短縮に伴い、受験料を各級5,000円差し引いた金額に設定いたします。

技能検定制度の導入に基づき、C級は普及指導員・初段以上取得者が、B級はC級指導員・2段以上取得者が、A級はB級指導員・3段以上取得者が受験・受講し、下記の内容で講習と試験を実施する。

(1) C級指導員：

- － 講習；
 - 1) 学科講習(=講義)；従来通りの『太極拳指導教本』、『太極拳実技テキスト』による
 - 2) 指導理論講習1(=講義)；「指導実技研修 説明会」
 - 3) 指導実技研修(=実技)
- － 試験；
 - 1) 指導実技試験(誤りと正しい動作を示範する)

(2) B級指導員：

- － 講習；
 - 1) 学科講習(=講義)；従来通りの『太極拳指導教本』、『太極拳実技テキスト』による
 - 2) 指導実技研修(実技)
- － 試験；
 - 1) 指導実技試験(誤りと正しい動作を示範する)

(3) A級指導員：

- － 講習；
 - 1) 学科講習(＝講義)；従来通りの『太極拳指導教本』、『太極拳実技テキスト』および当日配布の追加資料あり
 - 2) 指導実技研修(実技)
- － 試験；
 - 1) 指導実技試験(誤りと正しい動作を示範する)

ABC級指導員認定 共通カリキュラム

	第1日目	第2日目
午前	9:30～10:00 受付	9:30～ 開場
	10:00～10:10 開講式・オリエンテーション	10:00～11:00 指導実技研修(3)
午前	10:10～11:30 A級学科講習 B級学科講習 C級学科講習	11:00～11:30 休憩・試験準備
	11:30～13:00 昼食・休憩	11:30～ 指導実技試験開始 (試験終了者から随時解散)
午後	13:00～14:15 指導実技研修(1)	13:30 終了予定 (会場人数によって異なる)
	14:15～14:30 休憩	
午後	14:30～15:30 指導実技研修(2)	
	15:40 終了・解散	

8. 認定試験の合否判定基準：

A・B・C各級の認定試験において、

(1) 指導実技試験は；

A・B・C級ともに、指導実技試験は、出題用紙に従って、正しい動作と誤りの動作を行って解答する。
設問数に基づいて、60ポイントを満点とし、30ポイント以上を合格点、29ポイント以下を不合格点とする。

(2) 学科試験は；

A・B・C級の学科試験は実施せず、学科講習を受講することで合格判定とする。

9. 合否判定の手続き：

各会場での実技試験等の試験の採点用紙と採点資料は、日本連盟において各級認定委員会の責任者が参加して開催される「判定会議」に提出される。

「判定会議」において、各会場での採点内容を詳細に比較・検討したうえで全体の合否判定が行なわれる。合否判定の結果は、各級認定委員会の責任のもとに、日本連盟常務理事会に提出され、同会の承認を得た後に、正式な合否判定結果として公表される。

10. 申請の方法：

1) 級別に申請：

申請は、A級、B級またはC級のいずれかを特定して各級専用の申請書で行う。

※従来日本連盟にて受験票の写真を貼付しておりましたが、検定試験との作業統一化および業務の簡素化のため2021年度より受験者本人により受験票への写真貼付を行っていただくこととなりました。

11. 各級受験資格取得講習会：

上記5.「受験資格」に定める指導歴要件(C級申請者は3年以上、B級申請者は5年以上、A級申請者は10年以上)を満たしていない者で、都道府県連盟が実施するC級受験資格取得講習会、B級受験資格取得講習会、A級受験資格取得講習会のいずれかを受講し、修了したものは、「申請書」に「修了証」を添付して、申請期限までに提出することにより、該当級の申請を行うことができる。

講習会は下記の要領で実施する。

1) 講習会は、都道府県連盟が講師を委嘱して実施する。

2) 講師資格；

－ C級受験資格取得講習会を担当する講師は、B級指導員以上の公認資格を有する者

－ B級受験資格取得講習会を担当する講師は、B級指導員以上の公認資格を有する者

－ A級受験資格取得講習会を担当する講師は、A級指導員または日本連盟太極拳指導員委員会講師の資格を有する者

3) カリキュラム；

日本連盟発行の『太極拳指導教本』、『太極拳実技テキスト』を使用して、1回の講習に3時間以上、2回で6時間以上の講習を実施する。A級受験資格取得講習会とB級受験資格取得講習会およびC級受験資格取得講習会は、1人の講師が兼任して、同一会場で併設実施してもよいこととする。

4) 修了証；

上記カリキュラムを受講した者に対して、「修了証」を発行する。「修了証」は本要綱に添付している所定の書式を用い、講師が署名し、都道府県連盟会長が承認印を捺印する。

12. 特別功労指導員に対する特別措置：

1) 下記の者は、技能検定3段を取得していなくても、A級指導員の受験申請をすることができる。

(1) 2023年3月1日現在満60歳以上の者で、技能検定2段位およびB級指導員資格を有する者。

(2) 2段取得後、満2年を経過していること。

(3) 指導歴10年以上の者。

(4) 過去に、A級指導員認定または3段検定を、3回以上受験していること。

(5) 本人が所属する団体の団体長により、普及振興事業に格段の貢献を果たした「特別功労指導員」として特別推薦された者。

(6) 都道府県連盟会長により、普及振興事業に格段の貢献を果たした「特別功労指導員」として特別推薦された者。

(7) 「A級指導員認定試験」において、「追加的実技試験」を受験することができる者。

2) この特別措置による受験を申請しようとする者は、本要綱に添付した「特別功労指導員 特別推薦状」に、所定の事項を記入し、所属団体長印と都道府県連盟会長を捺印したものを、「申請書」に添付して提出する。

13. 資格の登録：

認定試験に合格した者は、所定の期間内に登録手続を行い、登録料を納付すれば連盟会長より、公認資格を付与される。

1) 登録された資格の有効期間は、2023年9月1日より4年間とする。

2) 有効期間満了後、所定の更新手続を取らなかった者の資格は取り消される。

14. 費用と宿泊・食事等：

1) 資格認定にかかわる費用は、次の4種類とする。

① **受講・受験料**；下記の通り。

C級 受講・受験料＝1人1万5千円

B級 受講・受験料＝1人1万5千円

A級 受講・受験料＝1人1万5千円(ただし、上記13.の特別措置受験者は、1人2万円)

② **参加費(施設利用・機材費の実費)**；下記の通り。

C級 ＝1人3千円

B級 ＝1人3千円

A級 ＝1人3千円

③ **認定登録料**(4年間有効)； C級＝2万円、B級＝2万円、A級＝2万円。

④ **更新登録料**(更新後4年間有効)；C級＝2万円、B級＝3万円、A級＝4万円。

3) 認定登録料の納付と還付金；

登録料は、都道府県連盟が一括して日本連盟に納付する。都道府県連盟・加盟団体の認定登録料の還付金はA・B・C各級認定登録料の100分の20とし、都道府県連盟が登録料を日本連盟に納付する時に、団体還付金を差し引いたうえで、100分の80の日本連盟への納付額を一括して送金するものとする。

15. 教材について：

A・B・C各級とも、日本連盟発行の『太極拳指導教本』および、『太極拳実技テキスト』を使用する。

①『太極拳指導教本』および『太極拳実技テキスト』は、**受講者が事前に入手して、学習をすすめておくこと。**

②指導員認定試験には、**同教材を必ず持参して講習を受講すること。**教材を持参しなかった人は、認定講習会を受講することができない。

16. その他：

－ A・B・C級受験者の「受講・受験票」は、3月中旬～下旬に都道府県連盟宛に送付する。

以 上